

【議事録】概要

| | | | | | | |
|----------------|--|---------------|----------|------------|------------------------|----------|
| <p>会議名</p> | <p>第5次芦屋町総合振興計画 後期基本計画審議会（第1回）</p> | | | <p>会場</p> | <p>芦屋町役場 31会議室</p> | |
| <p>日時</p> | <p>平成27年9月16日（水） 19:00～21:00</p> | | | | | |
| <p>件名・議題</p> | <p>1) 開会 2) 町長挨拶 3) 辞令交付 4) 会長・副会長の選出 5) 諮問書の交付 6) 第5次芦屋町総合振興計画・後期基本計画の策定概要について 7) 各種アンケート結果について 8) 住民ワークショップ・団体意見交換会の結果について 9) 前期基本計画の評価及び現状と課題について 10) その他</p> | | | | | |
| <p>委員の出欠</p> | <p>会長</p> | <p>石川 智雄</p> | <p>出</p> | <p>副会長</p> | <p>野添 光弘</p> | <p>出</p> |
| | | <p>岩本 浩</p> | <p>出</p> | | <p>黒山 敏治</p> | <p>出</p> |
| | | <p>仁田原 真穂</p> | <p>出</p> | | <p>藤崎 英毅</p> | <p>出</p> |
| | | <p>伊藤 亜希子</p> | <p>出</p> | | <p>川上 登美江</p> | <p>出</p> |
| | | <p>安部 知彦</p> | <p>出</p> | | <p>内海 猛年</p> | <p>欠</p> |
| | | <p>石松 貢</p> | <p>出</p> | | <p>貝掛 俊之</p> | <p>欠</p> |
| | | <p>浅井 陽子</p> | <p>出</p> | | <p>新郷 綾子</p> | <p>出</p> |
| | | <p>木原 保則</p> | <p>出</p> | | <p>田中 信代</p> | <p>出</p> |
| | | <p>中西 隆雄</p> | <p>出</p> | | | |
| <p>合意・決定事項</p> | <p>・会長に石川智雄氏、副会長に野添光弘氏が選出された。</p> | | | | | |

第5次芦屋町総合振興計画・後期基本計画審議会（第1回）議事録

1 町長あいさつ

本日はお忙しい中、ご出席いただき感謝申し上げます。

第5次総合振興計画は芦屋町にとりまして最重要計画でございます。これに基づいて事業を進めるということでもあります。総合振興計画は平成23年から32年の10年間を基本構想とし、それを前期基本計画の5年間、後期基本計画の5年間に分けております。今回、皆様には後期基本計画を審議していただくこととなります。

後期基本計画の策定については、まち・ひと・しごと地方創生との関係がございます。安倍内閣は地方が創意工夫したものに対し、支援を行うとしています。このため、各行政においてはこの1年間で地方版の地方創生総合戦略の案を出すこととなっております。芦屋町における地方創生の取り組みとして、いくつか挙げさせていただきます。芦屋町は狭い行政面積でございますが、芦屋で何か商売をしようとする人に優遇措置をとることで、企業誘致を図ります。また、芦屋のキーワードは「海」と考えています。北九州や博多から訪れた方の話を聞きますと、海水浴に行きました、砂像に行きましたという話をよく聞きます。これを活かすということで、いま町職員も一丸となって一生懸命取り組んでいるところです。そして、今から芦屋町の特産品をつくろうということで、商工会をはじめ一生懸命考えております。

要するに、この後期基本計画の中に地方創生の内容をどのように盛り込んでいくかが重要となってきます。この5年間で芦屋町の50年とは言わないまでも20年・30年先の基礎ができると信じております。また、最近の動きとして連携中枢都市圏構想ということで、北九州市を中核として遠賀中間、直鞍、京築で連携協約を結ぶという話がございます。その中で芦屋町の重要な課題として、交通問題、下水道問題です。これらの問題について連携協約を締結することで解決していければと考えております。

国による地方創生の取り組み、周辺自治体との広域連携ということで、ここが正念場と考えております。以上の点をご理解のうえ審議を賜りますことをお願い申し上げます。

2 辞令交付

委員を代表して、石川委員に辞令交付。

3 会長・副会長の選出

委員各自の自己紹介後、会長・副会長の選出は事務局一任の声。
会長に石川智雄委員、副会長に野添光弘委員で了承をいただく。

4 会長あいさつ

最重要計画である総合振興計画の審議会会長ということで大変名誉なことと思っております。委員の皆様におかれましては、各委員会のプロフェッショナルがいっぱいいらっしゃるので、知恵を出し合い、力を合わせて計画を策定したいと思います。また、町長も言われましたが弱みを力に変えまして、芦屋町の基礎を作りたいと思いますので皆様のご協力をお願いします。

5 諮問

町長から会長に諮問書の交付。

6 議事

説明資料に基づき、後期基本計画がどのようなものかということと、計画策定の手順、これまでの取り組みとこの審議会の役割などについて、事務局より説明。

委員… 住民アンケートを過去3回やっているが、H21年が52%の回答率でH24年に10%程減っている。これは何か要因があるのか。

また各種団体意見交換の共通課題で、頑張っているところを評価する仕組みが必要と出ているが、はまゆう地区の例でいうと、はまゆう団地の前をある人がきれいに清掃してくれていて、区の中で何か御礼をしたいという話があったときに、どこの部署か忘れたが、いい事をした人に対して評価するようなものがあったらいい。それで採用されるかは分からないが、そういうものがあるにも関わらず形骸化して表にでてこないというか、そういうものが多々あるのではと思う。そういうものを掘り起こしていく必要があるのでは。新しいものも必要だけれど、今あるもので使われてないようなものがあるのであれば、それを表に出していくような議論もいるのかと感じた。

事務局… アンケートの回収の件については、明確な理由がない。ただ、調査を専門に行っている業者に確認すると、H21年は総合振興計画を策定する時期と重なっており、関心が高かったのではとのこと。

また、H24年の実施時期が行事の多い秋頃であり、若干回答期間を短くしていたということもある。周知についても、広報に掲載しただけであった。具体的にそれ以上は分析できかねるが、そのような状況であった。

会長… はまゆう区の件については、環境住宅課で表彰制度があったので、それで表彰されている。9月の区長会において全区長に対して、このような表彰制度を活用してこうと話をした。また、他にもそのような活動があれば教えていただきたい。